

南区組織目標の検証について（平成31年度実績・令和2年度目標）

部会	第1部会	第2部会		第3部会
項目	区バス利用者数, 乗合タクシー利用者数 (区バス運行支援協賛企業数)	ミニドック型集団健診受診者数 (電話による受信勧奨人数)	地域の茶の間設置件数 (設置件数または開催頻度)	重要文化財旧笹川家住宅, しろね大凧と歴史の館入館者数 (展示替えの実施箇所数)
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 大人(高齢者)の利用が増加傾向にあるなど, PRなどの取り組みに対する一定の効果は見られる。 新型コロナウイルスの影響により利用者数の見込みや目標設定は難しいと思うが, 評価するにあたり, チェック指標として大人(高齢者)の利用者数があってもいいのではないか。 区バスの運行支援として企業から協賛をもらっているが, 協賛以外にも連携した取り組みが必要ではないか。 4, 5月は新型コロナウイルスの影響により利用者が減少したが, 6月以降は利用者数が回数傾向にあり, 今後も利用者数の推移を注視しながらPRを継続していく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★ 組織目標全体に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価のポイントをどこに求めるかによって評価指数が変わってくると思われる。多様な視点で物事を視ることも重要である。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 受診会場を変更することは考えていないのか。区民の健康を考えるとであれば他の地域を入れるのも検討してもらいたい。 信濃川沿線に健診会場がない。白根の中心まで来ないと健診が受けられない。受診者が増えるかどうかはわからないが, 大通, 庄瀬, 臼井なども健診会場の案として入れた方がいいのではないか。 電話をして健診を予約するのは高齢者にとってはハードルが高い。申し込んでも断られることがある。 受診者を増やすために, 色々な方法を考えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> R2年度の目標はH31年度の目標と違って, 数値目標となっていないが, 評価をするときは説明をしてもらえるのか。開催頻度を高めるとあるが, 質を検証するのは難しいのではないか。 目標に掲げるのなら評価できるような指標にすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年は新型コロナウイルス感染症の影響で様々な行事が行えないが, 行事を計画する上ではコロナウイルスの状況と併せて考えなければならない。令和元年度の組織目標のように入館者数を目標とすることはできないと思う。展示替えなどを行い, 文化施設をPRしていく方がいい。 映画制作会社などをお願いして, 文化施設を活用して撮影をしていただけないかをお願いするなど, 発想の転換も必要。 旧笹川家住宅へ行った際, ボランティアガイドから1時間半ほど案内をしてもらい, 十分見応えがあった。ボランティアガイドの育成が大切。 旧笹川家住宅の中で, 飲食物を販売したらいいのではないか。 文化施設のチケットに他の文化施設の割引できる仕組みを作った方がいい。 施設に行ってみたくなるようなパンフレットの作成が必要。 旧笹川家住宅から曾我・平澤記念館へ行く順序を分かりやすくした方がいい。
項目	総合防災訓練参加数・自主防災訓練全23組織の訓練実施 空き家相談会の回数 (全14地区での「防災虎の巻」作成・自主防災訓練全23組織の訓練実施・空き家利活用に向けた取り組みの実施)	子育て支援リーダーの人数 (子育て支援リーダー勉強会の回数)	障がい者の販売店舗の数 (")	民間等と協働により開発した新商品数 (")
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災訓練については, 新型コロナウイルスの影響もあり, 各地区で避難所運営の方法や, 役割分担の実施など, これまでよりも一歩踏み込んだ形で実施する必要がある。また, 全体での訓練を行わないため, 各地区での実施内容などの情報共有も必要。 訓練を実施するだけでなく, 訓練に対する評価基準を定めることで, より有効な訓練になるのではないか。 自治会の役員は1, 2年で変わることが多いため, 自治会ごとのマニュアル作成の検討が必要。 防災士の育成も目標に挙げていくべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援リーダーのスキルアップをした場合, 現状はどう変わっていくのか。子育て支援センターだけでなく, せつかくスキルアップをするのだから, 他のところでも活動できたらいいのではないか。 子育て支援リーダーへの市からの委託はいくらくらい払っているのか。スキルアップしてもらうには, 市からもある程度委託費を払ってあげた方がいい。 各地域のリーダーの名前を出して良ければ, 地域に情報を出したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 利益だけを目的としているわけではないが, 利益を出すことで, 続けられる人もいる。実際, どういうものを作っていてどういうものが人気というのをPRできたらよい。 店舗が増えれば売上も上がると思うが, 店舗数を増やすのは事業所の目標なのか。障がい者の自立に向けた支援になっていないので, 自立を促すような目標設定にした方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産者の声は聴いているのか, また生産者は区のことといった事業を知っているのかが大事。 高校生などの若い人たちが, 開発にかかわっているのは良い取り組み。 ルレクチエの出荷量を増やすことについてはどう考えているのか。 白根のネームバリューを高めるのにはいいと思う。

※ () は令和2年度の目標